

協議第 6 号

平成 1 5 年 月 日確認

新市の名称について

新市の名称について別紙のとおり提出する。

平成 1 5 年 4 月 9 日提出

津地区合併協議会

会長 近 藤 康 雄

【協議結果】

今回の協議会において、新市の名称を津市として再度協議することとなりました。

協議項目	3.新市の名称	調整の内容(案)	新設合併の場合、新市の名称は協議会において協議のうえ、決定する。
関係項目			

新設合併]

合併に伴い、合併関係市町村(合併前の市町村)の法人格は消滅し、新しい市として法人格が発生することとなります。そのため、新市の名称についても協議が必要となります。

先進事例](新設合併)

合併の期日	名称	合併関係市町村	公募の有無	実質的な審議機関	審議経過
平成3年4月1日	北上市	北上市、和賀町、江釣子村	無	3市町村合併に関する合同会議	法定協議会発足前に、基本事項の一つとして協議決定
平成6年11月1日	ひたちなか市	勝田市、那珂湊市	有	協議会第1小委員会	公募の結果(約5,000件)をもとに、候補名1点(ひたちなか市)を協議会に報告
平成7年9月1日	あきる野市	秋川市、五日市市	無	両首長	小委員会において協議していたが、調整がつかず、法定協議会の場で協議することとなったが、最終的には両市長が協議し決定
平成11年4月1日	篠山市	篠山町、西紀町、丹南町、今田町	無	協議会小委員会	参考とするため、アンケートを実施し、小委員会で決定
平成13年1月21日	西東京市	田無市、保谷市	有	協議会小委員会	小委員会において応募作品(約8,700点)より5点程度を選定後、市民意識調査の最多得票により決定
平成13年5月1日	さいたま市	浦和市、与野市、大宮市	有	協議会第1小委員会	新市名検討委員会を設置し、公募(約68,000点)の中から5案を選考後、小委員会で1点(さいたま市)を決定し、協議会に報告
平成14年4月1日	さぬき市	津田町、大川町、志度町、寒川町、長尾町	有	協議会	合併協議会において、5町で実施した住民アンケート調査の最終結果の内容及び第3回合併協議会時に意見として確認された各町10案の名称を提出し、総合的な見地から慎重に協議を行い、決定
平成15年4月1日	静岡市	静岡市、清水市	有	名称選考委員会	

は合併関係市町村の名称以外とした事例

名称選考の観点(基準)

篠山市	定着度	歴史	一体感醸成	住民公募の結果
西東京市	地理的イメージ	地域の特長	歴史・文化	市民の理想表現(公募結果)
さぬき市	知名度(旧国名でもある)	住民アンケートの結果	住民の一体感の醸成	読みやすさ、書きやすさ

県内の名称決定の状況

市名	方式	協議経過
1.いなべ市	アンケート方式	住民10,000人に対し「建設計画」に反映させるアンケートを実施し、その1項目として新市の名称を問い、回収率51.5%のうち74.1%が「いなべ市」で、「その他」として15.5%であった。その結果を第3回協議会において「いなべ市」として提案し、第4回の協議会で確認された。
2.伊賀市	公募方式	1ヶ月間公募を行い、全国から2,861通、1,064種類の応募があった。その選定にあたり新市名称小委員会において、1次選定として8点、2次選定として3点を選定した。その後協議会において3点を協議し、「伊賀市」と決定した。 新市の選定基準として、伊賀地域が地理的にイメージできる名前 伊賀地域の特徴を表す名前 伊賀地域の歴史・文化にちなんだ名前 市民等の理想・願いにちなんだ名前 合併を記念した名前 その他新市にふさわしい名前 を選定基準とした。
3.松阪市	アンケート方式	11月頃に実施した住民説明会のときにアンケートを実施し、その1項目として「松阪市でよい」「その他の名称」の設問を設けた結果84.5%が「松阪市でよい」であり、松阪市を除いた他町村でも79%を占め、その後協議会において決定した。ただし読み方については、法定協議会で決めることとなっています。